

# みんなで作る二日間

3月19日(土) ~ 3月20日(日)

IN うつぐみの郷

	午前	午後	夜
1日目	タイムテーブル決め	かまど作り	夕食作り・話し合い
2日目	朝食作り・かまど作り	清掃・解散	

**一日目：** それぞれの集合場所から西宮北口に集合し、いよいよハピスマのお泊りスタートです。時間が限られているので、大きい荷物を積み込み、早速施設へ向かいました。バスの中では決めなければならないことが盛沢山です。まずは、メンバーからの希望で自己紹介をしました。ただ、バスの中だったので顔が見えなかったため、休憩で立ち寄ったサービスエリアにて、顔を見ながらもう一度自己紹介をしました。バスの中では、“夕食決め”から始まりました。候補は挙がるものの、そこから決まりません。作り方を知っているものや作りやすそうなものを選びようやく、夕食が決まりました。翌日の朝食はすんなり決まりましたが、昼食でカレーVS やきそばの話し合いが行われました。どちらも作りたい意見を述べることは出来るものの、「そこから納得させるにはどうすれば良いのか」などの決定的な意見が出てきません。そこで、新しいメニュー案を考えることになると、先ほどまでの論争が嘘かのようにすんなりとメニューが決定しました。メニューを全て決め終わると、次はグループ分けです。学年層を見ながらバランスを考え、グループ分けを行っていきます。やりたいのではなく、適材適所に分かれることが出来るのが今回の鍵です。施設までの道で買い出しを済ませ、ようやく施設に到着しました。昼食を済ませた後は、決まっていなかったことを順に決めていきます。少し話し合いにも慣れてきたことで、どんどん話を進めていくことが出来ました。タイムテーブルも自分達で決め、いよいよ待ちに待った“かまど作り”を開始します。土台を作る組は、重たい砂やセメントを力を合わせて担いでいきます。初めてのコンクリート作りにもいつも以上に目を輝かせて取り組んでおられました。レンガを積み重ねる組は、【ダイヤモンドカッター】を使い、長さを調節、切断することから始めました。レンガを積み上げていくと見事なかまどが完成し、メンバーからも歓声があがる程でした。明日は、このかまどを使って野外炊事を行います。あっという間に夕食を作る時間になりました。本日の夕食のメニューは、“やきとり・たまごわかめスープ・サラダ・ご飯”です。それぞれのグループに分かれて手際よく準備を進めました。みんなで準備を終わらせ、食卓に並べ終えたら早速いただきます！「スープ美味しい！」や「やきとり上手い！」と、それぞれの作ったものを美味しい、美味しいと、とても満足な夕食となりました。予定よりも30分遅れとなっていたため、片付けを後回しにして、銭湯へ向かいました。銭湯では、つかの間の休憩です。銭湯からの帰宅の道で施設に戻った後の片付けや布団準備などのグループ分けを行いました。さすがに慣れてきたのか、最初に比べると随分と早くグループ分けを行えるようになってきました。施設に到着後は、各々に分かれ動きまわりました。明日の朝ご飯の役割までを決めたら今日の話し合いは終了です。就寝の準備を整え電気を消すと、疲れからすぐに寝息が聞こえてきました。



**二日目：** おはようございます。みんなで決めた起床時間に眠たい目をこすりながら起きてきました。洗面の順番を待ちながらも出来ることを進めていきます。みんながみんなのことを考え続けている結果が現れ始めていると感じました。朝食の準備もテキパキとこなしていききました。朝食は、キャンプ飯の定番の“パックドック”と“フレンチトースト”を作りました。予想以上にフレンチトーストが大人気で、すぐに売り切れるほどでした。朝食の後は、午前中にすることを決めました。小雨も少し降っていたので、カッパを着てかまど作りの続きを



行うのか、室内で出来ることをするのか意見の対立が起こりました。昨日のバス内の対立では、行き場のない意見が多かったものの、今回はお互いに納得させようとする意見が飛び交い二日目の成長を感じる場面でした。結局、話し合いをしている間に雨が止み、満場一致でかまどの続きを行うことになりました。昨日の経験も踏まえ、昼食作りの裏でかまど作りを続けるメンバーも決めておく程、入念な対策が組まれていました。かまど作りと昼食を同時進行で行ったおかげもあり、コンクリート作りは完成しました。かまど作りは、途中までとなったので、また挑戦しましょう。朝から、盛沢山の活動を行ったことでお腹もぺこぺこです。みんなで食べる最後のご飯をいただきました。昼食後は、後片付け組と清掃組に分かれました。あっという間に帰宅の時間となりました。施設には、まだまだ魅力的な活動が残っています。また、来年みんなでやり残したことをしに行きましょう。



## <活動総括>

二日間の宿泊活動にご参加いただき、誠にありがとうございました。普段は交わらないA日程とB日程が交わることで、メンバーの可能性をまだまだ感じる二日間でした。行きのバスの中から始まった話し合いは、二日間を通して何度も行いました。合計すると五時間は超えていそうです。今回のワードは、『みんな』です。私も含め、メンバーがみんなという言葉がこれでもかと使いました。初めは意識できていなかった言葉を時間を共にし、話し合いを繰り返すことで、徐々に意識をしていく様子が見られました。ハピスマのメンバーだからこそ、意識できる『みんな』という言葉がこれからも大切に来年度はさらにパワーアップ出来ると確信致しました。来年度も共に、活動を楽しみながら成長していきましょう。よろしく願い致します。

(橋本 里佳)